

学習指導要領改訂方針でゆとり見直し 中教審が答申

2008年1月18日

文部科学省の諮問機関・中央教育審議会(山崎正和会長)は1月17日、次期学習指導要領の改定方針をまとめ、渡海紀三朗文科相に答申した。内容は、昨年10月に出された、中間報告「審議のまとめ」を踏襲している。(エルヴェホットニュース 10月の中教審参照)小中学校の主要教科と体育の授業時間数を現行より約1割増やし、「ゆとり教育」の見直しを行った。

文科省は3月末までに告示する。2009年度から理数教科など一部を先行実施、小学校は2011年度、中学校は2012年度から完全実施。高校は2008年度中に改定案を作成。2013年度に入学する1年生から適用し、2015年度にすべての学年で実施予定。